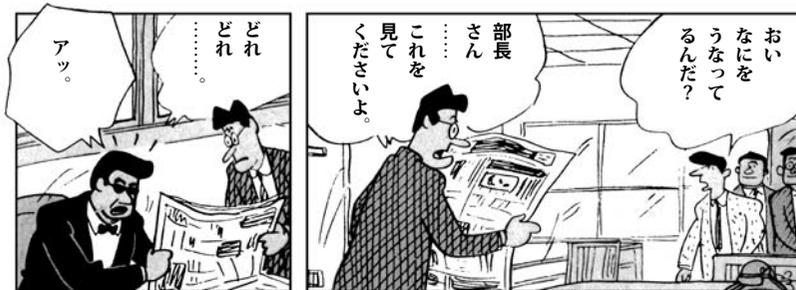




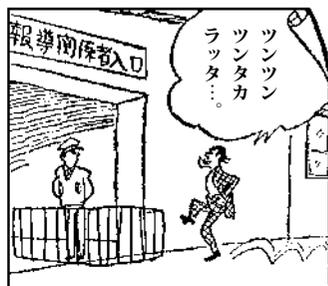
特種日本新聞社・源頼光社会部長











ツンツン
ツンタカ
ラッタ...



エッ、
桃太郎
...!?
な、なんの
ご用
です?



大洋の
桃太郎
ですけど



「はい、
『日刊野球
ボーイ』
です。」



きみらも
もつとふかく
考えて、
しっかりした
記事を
かかんといかんぜ。
ハッハハハハ。



ヨオツ、
宇和佐くん、
ごきげんだ
なあ。
とんでもない
記事を
かいたじゃ
ないか。
ヘッヘヘ
「生きた
記事」って
のは、
ああいうのを
いうんだ。



そう、
こまった
なあ。
ぼく
その人に
お礼をした
かったんだ
けれど...



エッ、
桃太郎は
落球しない
の記者を
かいた人を
だして
くれって?
アア、
その記者なら
いま
いませんよ。



ヤア
桃太郎くん、
おそくなつて
すまん。



チエツ、
いかれて
らあ!
デマ記事
ばかりかき
やがって!

テケ
レツツ
パ!



ウハハハハ、
そ、
そうですね!
イヤーッ、
そうですね
とも!!



だつて、
あの記事
だけが
ぼくの
気持ちを
わかつて
くれたんだもの。



エエツ、
お礼を
いいたいって
どうして?



オー・ケー、
まかして
おけよ。
ジャンジャン
かかせ。



ぼくは
金ちゃんが
にくいんです
これからも
新聞で
金ちゃんを
たたいてくれる?



お礼は
なにがいい
ですか?
おかね?
ヘッヘ、
一回
一万円
どうだ?

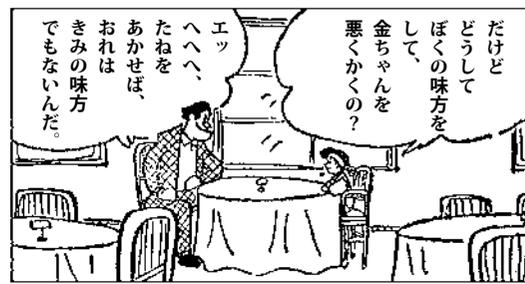


アア
宇和佐
さん!

やっぱり、
よし、
ギユツと
いわせて
やろう。



じつは、
あれは
ぼくが
書いたん
ですよ。
イヤ、
ほんと!
ぼくが
かいたんです
よ。



★
★
★
★

なめ入場しよう!!
野球ゆかいまんが
誌上野球招待席に

スポーツマン

金太郎

★
★

第165回

